

2005年9月13日

報道関係各位

株式会社 大 和 総 研
東京都江東区冬木15 - 6

日本初の投信投資顧問向けソリューションの提供を開始

- システムの一本化によるコストの大幅削減を実現 -

株式会社大和総研（略称：DIR、本社：東京都江東区、社長：武本嘉之、資本金：38億9千800万円、代表：03 - 5620 - 5100）は、既存の投資顧問会社向け資産運用管理システム、PEAS（ピアス）を全面リニューアルしたFAIMS（フェイムス）/AM（*注）の本格展開を開始いたします。初年度10社での導入を見込んでおります。

大和総研では、従来より、投資顧問会社、信託銀行、生命保険会社、損害保険会社の資産運用業務のバックオフィス向けソリューションとしてPEASシリーズを提供してまいりましたが、この度、PEASは、Web上で稼働する「FAIMS/AM」に刷新いたします。

また、投資顧問会社は、投信運用業務も手がける投信投資顧問会社の形態が主流となっております。大和総研では、これに応えるべく、平成14年に発表した投信計理システム「FAIMS/IT」との統合システムとして重複している業務の一本化、省力化によりコスト削減を可能にしています。この統合システムは、日本で初めての投信投資顧問会社向けシステムとなります。

大和総研は、資産運用業務分野でのシステムソリューション事業で長年培ってきたノウハウを大幅に盛り込み、分散環境で提供する「FAIMS」シリーズをフロントからミドル、バックまで一貫したトータルシステムとして、ラインナップを拡充しながら、お客様と共に発展して参ります。

*：「FAIMS」（フェイムス）は、株式会社大和総研の登録商標です。

以上

お問い合わせ先： 金融ソリューション推進部 山崎、池本 電話（03）3820 - 4865
--

Press Release

ご参考

・ FAIMS / AMのコンセプト

FAIMSシリーズは、アウトソーシングサービスです。

障害や災害対策をはじめ、メンテナンスコストや運用要員/設置スペースを削減することが可能となります。

FAIMSシリーズは、業界初の投信・投資顧問一体化サービスを実現します。

投信・投資顧問システムの一体化を図ることで、現行重複している業務の一本化、省力化とともに、コスト削減が可能となります。

銘柄マスター等各種コードの共通管理及び履歴管理

時価情報、コーポレートアクション情報の共有

コンプライアンス機能

私募投信の管理/評価/分析

取引・残高の一元管理による5%ルール等、会社全体レベルの資料作成

新商品の対応、制度改正等の迅速な対応が可能

FAIMSシリーズは、将来システム必須条件であるSTPに対応したサービスです。

証券保管振替機構、S.W.I.F.T.に接続します。自社または他社のフロントシステムを接続するために「FAIMS/FC」をご提供し、STPを実現致します。

FAIMSシリーズは、セキュリティを重視したサービスです。

金融庁からの指針を前提にシステム環境を構築します。さらにシステム利用状況のロギング機能で社内監査をサポートします。また担当者毎のファンドファイアウォール機能を実現することで、スポンサー様にセキュリティ管理をアピールすることが可能です。

FAIMSシリーズは、スポンサー様のニーズを考慮したサービスです。

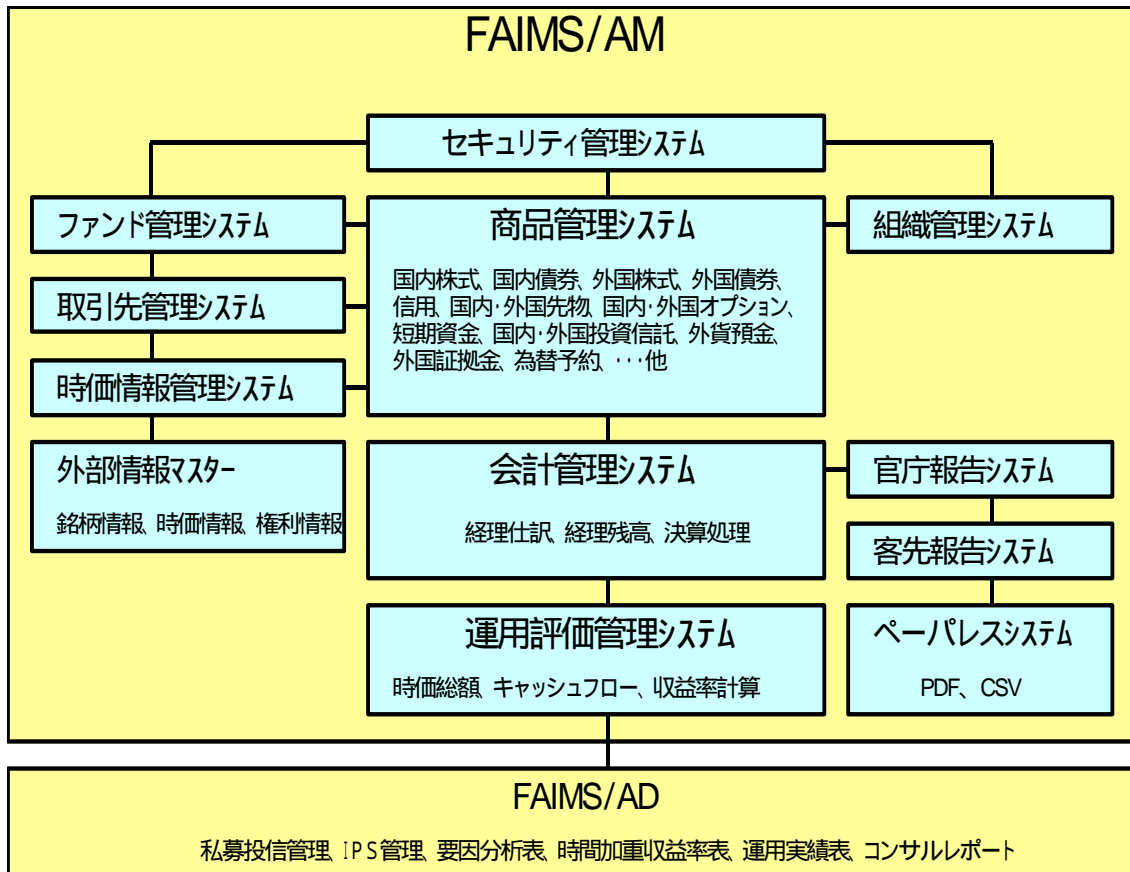
今後、資産運用について、スポンサー様と運用会社様とで、より一層緊密な関係が求められることが考えられます。運用状況の把握に関して、現在の四半期ベース、月次ベースからリアルタイムへ変わっていくとDIRは考えます。FAIMSシリーズでは、そのソリューションとして「FAIMS/WD」をご用意致します。スポンサー様側から、銘柄別残高、取引経過、運用実績状況等を日々確認することが可能となります。

FAIMSシリーズは、成長していくサービスです。

FAIMSシリーズの核となる「FAIMS/AM」「FAIMS/IT」にて、精度の高いデータを蓄積し、そのデータを使って、フロント/ミドル/バックまでのシステムニーズに対応できる機能を構築していきます。

Press Release

・ FAIMS / AMの機能マップ



Press Release

・ FAIMSシリーズのサービスマップ

～ 投信投資顧問会社様のための総合サービス ～

